

平成21年3月期 第3四半期決算短信

平成21年2月12日

上場会社名 株式会社 第三銀行
 コード番号 8529 URL <http://www.daisanbank.co.jp/>
 代表者 (役職名) 取締役頭取 (氏名) 伊藤 準一
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役総合企画部長 (氏名) 岩間 弘
 四半期報告書提出予定日 平成21年2月13日 特定取引勘定設置の有無 無

上場取引所 東 名

TEL 0598-23-1111

(百万円未満切捨て)

1. 平成21年3月期第3四半期の連結業績(平成20年4月1日～平成20年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	経常収益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
21年3月期第3四半期	36,140		10,724		7,017	
20年3月期第3四半期	38,385	2.0	2,942	49.9	1,465	54.5

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
21年3月期第3四半期	38.65	
20年3月期第3四半期	7.97	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
21年3月期第3四半期	1,725,326	47,480	2.6	251.42
20年3月期	1,743,479	69,365	3.9	370.97

(参考) 自己資本 21年3月期第3四半期 45,580百万円 20年3月期 67,544百万円

(注)「自己資本比率」は、(期末純資産の部合計 - 期末少数株主持分)を期末資産の部の合計で除して算出しております。

2. 配当の状況

(基準日)	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	年間
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
20年3月期		2.50		2.50	5.00
21年3月期		2.50			
21年3月期(予想)				2.50	5.00

(注)配当予想の当四半期における修正の有無 無

3. 平成21年3月期の連結業績予想(平成20年4月1日～平成21年3月31日)

(%表示は対前期増減率)

	経常収益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	47,600	11.5	14,000		9,470		52.23

(注)連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 有

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 無
新規 社(社名) 除外 社(社名)(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有
(注)詳細は、2ページ[定性的情報・財務諸表等]4.その他をご覧ください。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更)に記載されるもの)

会計基準等の改正に伴う変更 有
以外の変更 無

(注)詳細は、2ページ[定性的情報・財務諸表等]4.その他をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	21年3月期第3四半期	184,358,000株	20年3月期	184,358,000株
期末自己株式数	21年3月期第3四半期	3,066,946株	20年3月期	2,288,099株
期中平均株式数(四半期連結累計期間)	21年3月期第3四半期	181,539,032株	20年3月期第3四半期	183,751,196株

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

本資料に記載されている業績予想は、発表日現在で入手可能な情報に基づき作成したものであります。実際の業績は、今後の様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。

【定性的情報・財務諸表等】

1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期の連結経営成績につきましては、経常収益において、貸出金利息は前年同四半期比増加したものの、有価証券利息配当金収入や株式等売却益の減少がこれを上回ったことから、前年同四半期比22億45百万円減少し361億40百万円となりました。

一方、経常費用は、世界的な金融市場の混乱の拡大に伴い、保有有価証券の減損処理が増加したことや経済環境の悪化等により、信用コストが増加したことなどから、前年同四半期比114億21百万円増加しました。

その結果、経常利益は、前年同四半期比136億66百万円減少し107億24百万円の損失の計上となりました。また、四半期純利益は、前年同四半期比84億82百万円減少し70億17百万円の損失の計上となりました。

2. 連結財政状態に関する定性的情報

当第3四半期末における連結財政状態につきましては、総資産は1兆7,253億円となり、前年度末に比べ181億円減少いたしました。また、純資産はその他有価証券評価差額金の減少などから474億円となり、前年度末に比べ218億円減少いたしました。

主要な勘定残高につきましては、預金は、個人預金を中心に前年度末に比べ109億円増加し、当第3四半期末残高は、1兆6,078億円となりました。貸出金につきましては、取引先の資金需要に積極的に対応した結果、前年度末に比べ102億円増加し、当第3四半期末残高は、1兆934億円となりました。

有価証券は、金融市場の混乱により時価が下落した影響などから、前年度末に比べ231億円減少し、当第3四半期末残高は、4,647億円となりました。

3. 連結業績予想に関する定性的情報

世界的な金融市場の混乱の拡大に伴う保有有価証券の減損処理の増加に加え、経済環境の悪化等に伴う信用コストの増加などを見込み、平成20年11月13日に公表いたしました通期の業績予想を修正しております。

修正内容につきましては、本日発表の「平成21年3月期通期業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）

該当ありません。

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

[簡便な会計処理]

減価償却費の算定方法

定率法を採用している有形固定資産については、年度に係る減価償却費の額を期間按分する方法により算定しております。

貸倒引当金の計上方法

「破綻先」、「実質破綻先」に係る債権等及び「破綻懸念先」で個別の予想損失額を引き当てている債権等以外の債権に対する貸倒引当金につきましては、中間連結会計期間末の予想損失率を適用して計上しております。

税金費用の計算

法人税等につきましては、年度決算と同様の方法により計算しておりますが、納付税額の算出に係る加減算項目及び税額控除項目は、重要性の高い項目に限定して適用しております。

繰延税金資産の回収可能性の判断

繰延税金資産の回収可能性の判断につきましては、一時差異の発生状況について中間連結会計期間末から大幅な変動がないと認められるため、当該中間連結会計期間末の検討において使用した将来の業績予測及びタックス・プランニングの結果を適用しております。

[四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理]

該当ありません。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

四半期連結財務諸表に関する会計基準の適用

当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

リース取引に関する会計基準

所有権移転外ファイナンス・リース取引については、従来、賃貸借取引に係る方法に準じた会計処理によっておりましたが、「リース取引に関する会計基準」(企業会計基準第13号平成19年3月30日)及び「リース取引に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第16号同前)が平成20年4月1日以後開始する連結会計年度から適用されることになったことに伴い、第1四半期連結会計期間から同会計基準及び適用指針を適用しております。これによる損益に与える影響は軽微であります。

(追加情報)

売手と買手の希望する価格差が著しく大きい変動利付国債については、市場価格を時価とみなせない状況であると判断し、経営者の合理的な見積りに基づく合理的に算定された価額を時価としております。なお、市場価格を時価として算定した場合と比べて、「有価証券」は2,935百万円増加、「その他有価証券評価差額金」は2,935百万円増加しております。

変動利付国債の合理的に算定された価額は、固定利付国債の価格に整合的な割引率と市場で評価されるスワップション・ボラティリティにフィットする金利の分散をもとに将来の金利推移をモデル化した上で、将来キャッシュ・フローを想定して算出した現在価値に基づき算出しております。なお、主たる価格決定変数は、国債の利回り及び価格並びにスワップション・ボラティリティであります。

5. 【四半期連結財務諸表】
 (1) 【四半期連結貸借対照表】

(単位：百万円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成20年12月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成20年3月31日)
資産の部		
現金預け金	64,818	64,643
コールローン及び買入手形	30,000	30,000
商品有価証券	1,548	1,739
金銭の信託	1,927	2,728
有価証券	464,741	487,850
貸出金	1,093,420	1,083,149
外国為替	3,150	2,063
その他資産	28,384	35,443
有形固定資産	28,042	27,910
無形固定資産	1,580	1,230
繰延税金資産	17,228	16,567
支払承諾見返	5,495	6,161
貸倒引当金	15,011	16,008
資産の部合計	1,725,326	1,743,479
負債の部		
預金	1,607,806	1,596,891
借入金	16,644	18,427
外国為替	8	41
社債	17,000	17,000
その他負債	19,802	24,086
賞与引当金	513	1,061
役員賞与引当金	-	21
退職給付引当金	5,994	5,984
役員退職慰労引当金	311	283
睡眠預金払戻損失引当金	114	113
偶発損失引当金	178	51
再評価に係る繰延税金負債	3,975	3,988
支払承諾	5,495	6,161
負債の部合計	1,677,845	1,674,114
純資産の部		
資本金	22,461	22,461
資本剰余金	17,761	17,761
利益剰余金	21,382	29,287
自己株式	1,158	880
株主資本合計	60,446	68,629
その他有価証券評価差額金	18,187	4,299
繰延ヘッジ損益	66	186
土地再評価差額金	3,389	3,401
評価・換算差額等合計	14,865	1,085
少数株主持分	1,899	1,821
純資産の部合計	47,480	69,365
負債及び純資産の部合計	1,725,326	1,743,479

(2)【四半期連結損益計算書】
【第3四半期連結累計期間】

(単位：百万円)

	当第3四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年12月31日)
経常収益	36,140
資金運用収益	25,832
(うち貸出金利息)	18,720
(うち有価証券利息配当金)	6,945
役務取引等収益	3,438
その他業務収益	735
その他経常収益	6,133
経常費用	46,864
資金調達費用	4,762
(うち預金利息)	4,075
役務取引等費用	1,542
その他業務費用	8,103
営業経費	17,365
その他経常費用	15,090
経常損失()	10,724
特別利益	5
固定資産処分益	0
償却債権取立益	5
特別損失	137
固定資産処分損	73
減損損失	63
税金等調整前四半期純損失()	10,855
法人税、住民税及び事業税	227
法人税等調整額	4,142
法人税等合計	3,915
少数株主利益	76
四半期純損失()	7,017

当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当ございません。

(4) セグメント情報

[事業の種類別セグメント情報]

当第3四半期連結累計期間(自平成20年4月1日 至 平成20年12月31日)

	銀行業 (百万円)	リース業 (百万円)	その他の事業 (百万円)	計 (百万円)	消去又は全社 (百万円)	連結 (百万円)
経常収益	30,467	5,785	1,809	38,062	(1,922)	36,140
経常費用	41,363	5,734	1,670	48,767	(1,903)	46,864
経常利益 (は経常損失)	10,895	51	139	10,705	(18)	10,724

(注)1. 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

2. 「その他の事業」の主なものにはクレジットカード業務、現金整理委託業務等があります。

[所在地別セグメント情報]

全セグメントの所在地は国内のため、所在地別セグメント情報の記載を省略しております。

[国際業務経常収益]

国際業務経常収益が連結経常収益の10%未満のため、国際業務経常収益の記載を省略しております。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当ございません。

「参考」

(1) (要約) 四半期連結損益計算書

(前第3四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第3四半期 連結累計期間 (自平成19年4月1日 至平成19年12月31日)
経常収益	38,385
資金運用収益	27,025
(うち貸出金利息)	18,501
(うち有価証券利息配当金)	8,357
役務取引等収益	3,681
その他業務収益	331
その他経常収益	7,347
経常費用	35,443
資金調達費用	4,405
(うち預金利息)	3,673
役務取引等費用	1,540
その他業務費用	1,726
営業経費	17,756
その他経常費用	10,015
経常利益	2,942
特別利益	9
特別損失	672
税金等調整前四半期純利益	2,279
法人税、住民税及び事業税	44
法人税等調整額	790
少数株主損失	22
四半期純利益	1,465

(2) セグメント情報

[事業の種類別セグメント情報]

前第3四半期連結累計期間(自平成19年4月1日 至平成19年12月31日)

	銀行業 (百万円)	リース業 (百万円)	その他の事業 (百万円)	計 (百万円)	消去又は全社 (百万円)	連結 (百万円)
経常収益	31,853	6,456	1,486	39,796	(1,410)	38,385
経常費用	28,997	6,480	1,366	36,843	(1,399)	35,443
経常利益 (は経常損失)	2,856	23	120	2,953	(10)	2,942

(注) 1. 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

2. 「その他の事業」の主なものはクレジットカード業務、現金整理委託業務等であります。

[所在地別セグメント情報]

全セグメントの所在地は国内のため、所在地別セグメント情報の記載を省略しております。

[国際業務経常収益]

国際業務経常収益が連結経常収益の10%未満のため、国際業務経常収益の記載を省略しております。

【平成21年3月期 第3四半期決算短信の説明資料】

1. 平成21年3月期 第3四半期の損益状況(単体)

第3四半期までの損益状況については、貸出金利息は増加したものの、有価証券利息配当金収入および投資信託受入手数料の減少等により、コア業務純益は前年同四半期比14億6百万円減少し、48億44百万円となりました。

また、世界的な金融危機の影響を受け、保有有価証券の減損処理が増加したことや経済環境の悪化等により信用コストが増加したことなどから経常利益は前年同四半期比137億51百万円減少し、108億95百万円の損失、四半期純利益は70億42百万円の損失計上となりました。

平成21年3月期通期予想につきましては、平成20年11月13日に公表いたしました通期業績予想を修正しております。修正内容につきましては、本日発表の「平成21年3月期通期業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

(単位:百万円)

	平成21年3月期 第3四半期		平成20年3月期 第3四半期	平成21年3月期 通期 予想 (12カ月間)
	実績 (9カ月間)	前年同四半期 実績比	実績 (9カ月間)	
業 務 粗 利 益	15,057	7,637	22,694	
資 金 利 益	21,112	1,540	22,652	
役 務 取 引 等 利 益	1,312	124	1,436	
そ の 他 業 務 利 益	7,367	5,973	1,394	
(うち国債等債券損益)	6,810	6,520	290	
経 費 (除 く 臨 時 処 理 分)	17,023	289	16,734	
一 般 貸 倒 引 当 金 繰 入	1,927	2,140	213	
業 務 純 益	39	5,785	5,746	
コ ア 業 務 純 益	4,844	1,406	6,250	
臨 時 損 益	10,856	7,966	2,890	
うち不良債権処理額	6,046	3,566	2,480	
うち株式等関係損益	3,582	4,382	800	
経 常 利 益 (は 経 常 損 失)	10,895	13,751	2,856	14,200
特 別 利 益	1	1	2	
特 別 損 失	136	447	583	
税 引 前 四 半 期 純 利 益 (は 税 引 前 四 半 期 純 損 失)	11,030	13,304	2,274	
法 人 税、住 民 税 及 び 事 業 税	45	5	40	
法 人 税 等 調 整 額	4,033	4,823	790	
四 半 期 (当 期) 純 利 益 (は 四 半 期 (当 期) 純 損 失)	7,042	8,485	1,443	9,500

(注)記載金額は、単位未満を切り捨てて表示しております。

2. 「金融再生法ベースのカテゴリーによる開示」(単体)

	(単位：億円)		(参考)(単位：億円)
	平成20年12月末	平成19年12月末	平成20年3月末
破産更生債権及びこれらに準ずる債権	89	77	79
危険債権	164	165	174
要管理債権	37	105	100
合計	291	348	354
総与信に占める割合	2.60%	3.19%	3.20%

(注) 上記の平成20年12月末の計数は、「金融機能の再生のための緊急措置に関する法律施行規則」第4条に規定する各債権のカテゴリーにより分類しており、集計方法については、平成20年12月末を基準日として行った自己査定における債務者区分残高を前提としております。

なお、「破産更生債権及びこれらに準ずる債権」と認められる金額のうち、無価値と認められる部分については直接償却相当額として当該金額を減額しております。

3. 自己資本比率(国内基準)

	(参考)	
	平成21年3月末(予想値)	平成20年9月末(実績)
連結自己資本比率	8.9%程度	9.11%
連結Tier1比率	5.9%程度	6.01%

	(参考)	
	平成21年3月末(予想値)	平成20年9月末(実績)
単体自己資本比率	8.8%程度	8.97%
単体Tier1比率	5.8%程度	5.89%

(注) 上記予想値は、経営環境に関する前提条件の変化等に伴い変動することがあります。

4. 時価のある有価証券の評価差額（単体）

評価差額

(単位：億円) (参考) (単位：億円)

	平成20年12月末				平成19年12月末				平成20年3月末			
	時価	評価差額			時価	評価差額			時価	評価差額		
		うち益	うち損			うち益	うち損			うち益	うち損	
その他有価証券	4,537	181	69	250	5,171	51	147	96	4,729	76	75	152
株式	308	81	15	96	489	54	93	38	422	20	39	60
債券	3,161	12	50	37	3,322	19	32	13	3,070	7	27	19
その他	1,067	113	2	116	1,359	22	21	44	1,235	63	8	72

(注) 1. 「評価差額」および「含み損益」は、期末時点の取得原価（償却原価法適用後、減損処理後）と時価との差額を計上しております。

2. 満期保有目的の債券及び子会社・関連会社株式で時価のあるものはありません。

(追加情報)

売手と買手の希望する価格差が著しく大きい変動利付国債については、市場価格を時価とみなせない状況であると判断し、経営者の合理的な見積りに基づく合理的に算定された価額を時価としております。なお、市場価格を時価として算定した場合と比べて、「有価証券」は2,935百万円増加、「その他有価証券評価差額金」は2,935百万円増加しております。

変動利付国債の合理的に算定された価額は、固定利付国債の価格に整合的な割引率と市場で評価されるスワップション・ボラティリティにフィットする金利の分散をもとに将来の金利推移をモデル化した上で、将来キャッシュ・フローを想定して算出した現在価値に基づき算出しております。なお、主たる価格決定変数は、国債の利回り及び価格並びにスワップション・ボラティリティであります。

5. デリバティブ取引（単体）

(1) 金利関連取引

(単位：億円) (参考) (単位：億円)

区分	種類	平成20年12月末			平成19年12月末			平成20年3月末		
		契約額等	時価	評価損益	契約額等	時価	評価損益	契約額等	時価	評価損益
店	金利先渡契約	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	金利スワップ	200	14	14	200	9	9	200	13	13
頭	金利オプション	-	-	-	-	-	-	-	-	-

(注) ヘッジ会計が適用されているデリバティブ取引は、上記記載から除いております。

(2) 通貨関連取引

(単位：億円) (参考) (単位：億円)

区分	種類	平成20年12月末			平成19年12月末			平成20年3月末		
		契約額等	時価	評価損益	契約額等	時価	評価損益	契約額等	時価	評価損益
店	通貨スワップ	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	為替予約	130	0	0	228	1	1	134	1	1
頭	通貨オプション	3	0	0	14	0	0	9	0	0

(注) ヘッジ会計が適用されているデリバティブ取引は、上記記載から除いております。

(3) 株式関連取引

該当ありません。

(4) 債券関連取引

該当ありません。

(5) 商品関連取引、クレジットデリバティブ取引

該当ありません。

6. 預金、貸出金の残高(単体)

	(単位：億円)		(参考) (単位：億円)
	平成20年12月末	平成19年12月末	平成20年3月末
預 金 (未残)	16,113	15,989	16,003
うち個人預金	12,907	12,678	12,553
貸出金 (未残)	11,006	10,701	10,899

以 上